

プログラム名	大島ハイキング		時 間	4～7時間																								
ねらい	1 歩くことを楽しむとともに、大島の歴史・自然・文化に親しむ。 2 新鮮な空気を吸い込みながら、大地を踏みしめて歩く快感を味わう。 3 交通ルールを守る態度を育てる。																											
対 象	小学生以上	活動可能人数	何人でも可																									
展 開 例	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>1 集 合</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定された場所に集合（入所時に確認） 参加人員と健康状態の把握 <p>2 事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動形態（個人・グループ・団体）の確認 コース説明およびハイキングの諸注意（安全、マナー等） <p>3 大島ハイキング（コース設定は、目的と活動時間を考慮して団体が決定） 〈モデルコース〉（時間は大島での時間）</p> <p>①展望コース（4.5時間） 港→御嶽山→中津宮→港 （見学）（弁当）</p> <p>②磯遊びコース（6時間） 港→御嶽山→夢の小夜島→港 （弁当）（磯遊び）</p> <p>③自由散策（自由に目的地を決めグループ行動）</p> <p>4 事後指導（各団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> 人員確認および健康状態の確認 評価と反省 <p>*フェリーは要予約 団体割引等は右記へ問い合わせのこと。 TEL 宗像市渡船課（0940-72-2535）</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;"> <p>大島渡船時刻表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>便名</th> <th>神湊発</th> <th>大島発</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>7:40</td><td>6:50</td></tr> <tr><td>2</td><td>9:25</td><td>8:35</td></tr> <tr><td>3</td><td>11:15</td><td>10:15</td></tr> <tr><td>4</td><td>13:50</td><td>13:00</td></tr> <tr><td>5</td><td>15:30</td><td>14:40</td></tr> <tr><td>6</td><td>17:10</td><td>16:20</td></tr> <tr><td>7</td><td>19:00</td><td>18:00</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>				便名	神湊発	大島発	1	7:40	6:50	2	9:25	8:35	3	11:15	10:15	4	13:50	13:00	5	15:30	14:40	6	17:10	16:20	7	19:00	18:00
便名	神湊発	大島発																										
1	7:40	6:50																										
2	9:25	8:35																										
3	11:15	10:15																										
4	13:50	13:00																										
5	15:30	14:40																										
6	17:10	16:20																										
7	19:00	18:00																										
実 施 上 の 留 意 点	1 活動場所について確実に 事前踏査を実施する。（活動範囲を事前に把握する） 2 海、川など水に入らせない。 3 道路周辺など自動車等に注意する 4 緊急事態のときは「玄海の家」(0940-62-2511)に連絡する。 5 熱中病等防止のため、水分補給と帽子を着用する。																											
引率者の役割	先導係1名、安全係数名																											
「玄海の家」で きる物	大島マップ、神湊港までの経路図																											
利用団体で する物	筆記用具、帽子、水筒、タオル、雨具、弁当 救急医薬品																											